

躍進

薩摩川内市
体育協会

Vol. 12

市体育協会の加盟団体から、今回は薩摩川内市水泳協会を紹介いたします。



【歴史】
日本における水泳の歴史は意外に古く、みそぎのためにイザナギノミコトが泳いだとの記述が、古事記や日本書紀に出てきます。

江戸時代に入ると、水泳は武術の一つとして全国各地に広まり、各地域で泳ぎ方の流派(鹿児島県は神統流)が生まれました。その発展したものが、「古式泳法」として現在も受け継がれています。

一方、ヨーロッパで確立された「近代泳法」は、明治以降に日本でも盛んになり、現在私達が慣れ親しんでいる水泳

の基礎となっています。

【沿革】
昭和22年7月22日に、水泳および水泳競技の健全な発展を図り、体育文化の向上、アマチュアスポーツ精神を養い育てることと水上事故防止を目的に、川内市水泳協会が発足しました。

平成17年4月には市町村合併に伴い、新たに薩摩川内市水泳協会として誕生しました。



【学童通信水泳大会】

【活動状況】

昭和23年から開催している北薩水上選手権は、今年で69回を迎える歴史と伝統ある大会です。その他にも市内の小中学校大会や北薩地域の中学校大会などを開催し、水泳競技の底辺拡大に努めています。



【北薩中学校水泳大会】

また、生涯スポーツの一環として、今年で10年目を迎える市内マスターズ水泳大会を開催し、参加者の健康増進に取り組んでいます。
毎年元旦に開催している新春初泳ぎも、今年で25回目を迎え、水難事故が起きないように願いを込めて実施している催しです。



【新春初泳ぎ】



【市内マスターズ水泳大会】



- 【定期的な大会】**
- 7月 県学童通信水泳大会
 - 8月 北薩中学校水泳大会
 - 北薩水上選手権
 - 9月 市内学童水泳記録会
 - 市内マスターズ水泳大会
 - 1月 新春初泳ぎ

- 【問合せ】**
- 会 長 永里広己 (ながさとひろみ)
 - 副 会 長 29662
 - 理 事 長 里城信一 (さとしろのぶいち)
 - ☎ (23) 1524



景観重要資産 シリーズ

地域で育み 未来へつなぐ 『ふるさと景観』

ふるさとの景観は、先人たちが守り・伝えてきたものであり、未来へと引き継ぐべき大切なものです。

本市では、良好な景観をつくり、地域の貴重な財産としての景観を高めるため、平成21年3月に「薩摩川内市ふるさと景観計画」を策定し、同年4月に「景観条例」を施行しました。

景観計画では、地区コミュニティ協議会が、地域の特色ある「地区」や「資産」を提案することができ、「景観提案制度」を設けています。

この制度により、地区住民が誇りに思い、その地区のシンボルやイメージとなっている滝や石橋などを、本市の「景観重要資産」として指定しています。
今回から隔月(偶数月)で紹介

知っているようで知らない、薩摩川内市に点在する素晴らしい景観を、ご紹介！

指定日 平成21年12月18日

所在地 樋脇町藤本

ここが見どころ

高さ26・2m、二段(上段21・3m、下段4・9m)に分かれた滝で、滝つぼの深さは7mあります。藤本滝公園の一角にあり、マイナスイオンたっぷりの自然を満喫できます。



地域の声

藤本地区コミュニティ協議会

会長 仙名秀松氏 (せんみなひでお)

藤本滝公園内にある滝を地区のシンボルとして、地区住民一体となり、景観整備に取り組んでいます。毎年8月に実施する恒例の「藤本滝ライトアップ」は、昨年で7回目を数え、市内外から多くの方が観賞に訪れ

す。今後も、景観保全と安全対策を図りながら、親しんでいただけの公園づくりに努めます。



アクセス 川内駅より車で約40分

指定日 平成21年12月18日

所在地 樋脇町倉野



鎌倉末期に彫られたとされる磨崖仏です。この中に梵字があり、梵字

ここが見どころ

を刻むことは仏像を彫ることと同じ意味とされています。中でも月輪中の梵字「オーンク」は、倉野で創作され、世界に一つしかないといわれています。

指定日 平成21年12月18日

所在地 樋脇町倉野

ここが見どころ

近年では、倉野の貴重な文化財に親しんでもらおうと、磨崖仏を中心に史跡巡りや、梵字コンサートなどを行っています。

この文字が貴重なものであることを認識し、消えることがないよう責任を持って、また、地域の誇りとして今後も大切に保護しながら、多くの方々に伝えていきます。



アクセス 川内駅より車で約30分

【問合せ】=本庁都市計画課景観グループ ☎(23)5111(内線3423)